

平成十五年度 二松學舎大学人文学会役員（五十音順）

会 長	野 村 邦 近
運営委員長	川久保 廣 衛
運営委員	家 井 眞・磯 水 絵
	小 川 晴 久・五 井 信
	武 永 尚 子
研究委員長	磯 水 絵
研究委員	家 井 眞・小 渕 朝 男
	芹 川 哲 世・佐 藤 保
	高 柳 幸 雄・寺 山 葛 常
	源 川 進・矢 羽 勝 幸
編集委員長	小 川 晴 久
編集委員	浅 野 進 太・五 井 信
	椎 木 伸 治・白 藤 禮 幸
	林 謙 太 郎・山 口 直 孝
	横 須 賀 司 久・渡 辺 了 好
会 計	武 永 尚 子
会計監査	難 波 正 久・松 田 存

『人文論叢』第70輯の訂正

表紙5行目（誤）―東防人歌 表紙12行目（誤）―私の論文

（正）―防人歌 （正）―私の研究

202頁17行目（誤）―湘南

（正）―沼南

△編集後記▽

新しく編集委員となり、同時に編集委員長をとめることになった。今号は投稿十三篇、採用十篇となった。十篇のうち小論文が一篇はいつていることに一言したい。

本誌の「投稿及び執筆要領（内規）」（本号218頁参照）を見ると第三号と第七号に小論文に関する規定がある。以前に小論文が採用されたことがあったが、しばらく途絶えていたという。今春提出されたレポートの中にすぐれたものがあったので、要項の規定にもとづき、他の投稿と同じ手続きを経て採用になったものである。毎年沢山のレポートが作成され、提出される。ずば抜けて優秀なものがあつた場合、担当の先生から推薦文を添えて年二回の本誌の原稿募集の際にご推薦いただきたい。但し、他の投稿と同じ扱いであることは断るまでもない。教師の手を経ないで学生諸君から小論文として直接投稿する途は要項にあるように勿論開かれている。会員である学部、学生諸君が、在学中に本誌に投稿する途の一つが小論文であるので、積極的に活用されることを呼びかけたい。

なお本号には会計報告が掲載されている。平成十三年度の会計報告にミスがあつたのでそれを是正したものも併せて掲載させていた

編集委員長 小川晴久